

炭婦協行進曲

作詞
作曲

荒木
荒木

栄
栄

□□

1. 鋤山に働くともし疲れく
ともし疲れく 偲わびがつつ
愛もどきも語る 偲わびがつつ
やさしの花 その咲き競うつどい
2. 家には主婦として
細きかありてはガツチリとして
苦しき家計を支えつつ
正しき子らを育て行く
3. 働者の中の
働者あつた主婦となる
幸あし粉の香よ忘るれば
しる脂のたを信ずれば
雄々しその名は炭婦協
4. 炭坑労働者と
炭坑主婦の協
二坑並んだの旗
高くてかかんげで 旗
高くつ並んだの旗
我々等のか行く手に雲ひかる
我々等のか行く手に雲ひかる

炭婦協行進曲

作詞 荒木 栄
作曲 荒木 栄

1 / 2

□■

1.

鉦山に働く わが夫

激しき疲れ 偲びつつ

ともども語る このつどい

愛情の花 咲き競う

やさし その名は炭婦協

2.

家にはありては 主婦として

細きかいな ガツチリと

苦しき家計 支えつつ

正しき子らを 育て行く

ゆかし その名は炭婦協

炭婦協行進曲

作詞 荒木 栄
作曲 荒木 栄

3.

働く者の 世の中の
働く者の 主婦となる

幸あるあしたを 信ずれば
しばし脂粉の 香よ忘る
雄々し その名は炭婦協

4.

炭坑労働者と

炭坑主婦の 協議会

二つ並んだ 旗じるし

高くかかげて 進み行く

我等の行く手に 雲ひかる

End